

研究員 NOW！！ No.2～ 長期研修を終えて ～

東京都市大学の佐藤真久教授、広島修道大学の永田成文教授、奈良教育大学の及川幸彦准教授、同志社女子大学の藤原孝章名誉教授を訪問しました。佐藤教授からは、持続可能な社会をつくる構成概念の捉え方について、永田教授からは、獲得した概念的知識の検証方法について、及川准教授からは、ESDを中心に据えたカリキュラム・マネジメントについて、藤原名誉教授からは、社会科とSDGsをクロスさせた教材化の方法や学習展開例について学ぶことができました。第一線で研究されている方々から話を伺うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。この長期研修で得た学びを、今後の研究に生かしていきたいと思えます。【笠東小 田中 隆晃】



大学入試センターの山地弘起教授と広島大学の深谷達史准教授を訪問しました。山地教授からは、主体的に学習に取り組む態度を育てる上での留意点として、児童が自身とのつながりを感じることができる教材選びや、児童が気軽に発言し合える学級づくりなど、学習活動以外のポイントについてもご指導いただきました。深谷准教授からは、自己調整力を育てるためには、児童が自身の学びの質に目を向けることができるように、振り返りのさせ方を工夫することが大切であると教わりました。この長期研修で、現地に直接赴き、他県の教育に触れることができたことで、大きな刺激を受けることができました。【天子田小 永瀬 智仁】

東京学芸大学の川崎誠司教授と筑波大学の唐木清志教授を訪問しました。川崎教授からは、子どもの思考に沿った活動に有効なICT機器の利活用についてご指導いただきました。唐木教授からは、子どもの社会参画に必要な教材化の留意点として、複数の異なる立場から社会的事象を検討できることや、対立意見を引き出せる取組であるかどうかを検証することの必要性をご指導いただきました。長期研修で、直接教育の最先端の研究をしている方から話を聞いたことは大きな学びになりました。また、他県でも研究に励む同志に出会えたことも良い刺激になりました。【北一社小 勝田 洋光】





宮崎大学吉村功太郎教授・兵庫大学關浩和教授・静岡大学山本隆太准教授らを訪問しました。吉村教授からは、よりよい社会を目指すための合意形成の在り方、關教授からは、子どもの思考を可視化するための様々な方法論、山本准教授からはシステム思考と社会科教育との関連性についてご指導いただきました。特に静岡大学の山本准教授には、システムアプローチ研究会にも誘っていただき、多くの大学教授や全国で実践されている現場の先生方と意見を交わす機会を作っていただき、多くの刺激と多様な学びを得ることができました。全国の先生方のチャレンジングな姿勢と教科教育に対する深い洞察を参考にし、今後の教員人生の糧としたいと思います。

【富士中 山本 亮介】

兵庫教育大学理事・副学長の吉水裕也氏、鳴門教育大学理事・副学長の梅津正美氏、函館市立亀田中学校教諭の川端裕介氏を訪問しました。吉水氏からは、「反ばく」を活用した話し合い活動についてご指導いただきました。梅津氏からは、ツールミン・モデルの記述内容や授業づくりのポイントについてご指導いただきました。川端氏からは、「考えプロセスシート」の活用方法についてご指導いただきました。長期研修では、多数の著書を発行されている先生方から直接ご指導いただくことができました。とても刺激的で有意義な時間を過ごすことができました。研修で学び得たことを、第2次授業研究に生かしていきたいです。

【天神山中 服部 樹】



広島大学草原和博教授・関西学院初等部宗實直樹教諭・敬愛大学教授市川洋子教授・東京学芸大学附属竹早中学校内藤圭太教諭を訪問しました。草原教授からは、生徒の意思決定のさせ方、宗實教諭からは個別最適な学び、市川教授からはPBLについて、内藤教諭からは単元を通した学習課題の設定の在り方についてご指導いただきました。特に宗實教諭には、一緒にフィールドワークを行う機会をいただき、また、内藤教諭には、実際の授業を参観させていただく機会をいただき、多くの刺激と学びを得ることができました。長期研修で得た学びを2学期からの実践に生かしていきたいです。

【伊勢山中 大塚基央】